

## 会議録（1）

会議の名称	令和4年度第2回飯能市公民館運営審議会
開催日時	令和5年2月21日（火） 開会 午前・ <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">後</span> 1時30分 閉会 午前・ <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">後</span> 2時25分
開催場所	飯能市富士見公民館 集会室
議長氏名	田 島 哲 也
出席委員	小 野 加津美 ・ 杉 山 光 夫 ・ 滝 本 繁 男 中 島 光 子 ・ 内 沼 政 子 ・ 高 鍋 悦 子 宮 寺 早 苗 ・ 平 沼 あけ美 ・ 田 島 哲 也 木 崎 茂 ・ 清 水 修 司
欠席委員	なし
説明者の職氏名	教育部長 新井洋一郎 ・ 生涯学習課長 武藤郁夫 公民館管理担当課長兼富士見公民館長 岡野晴男 飯能中央公民館長 宮沢庸郎 ・ 第二区公民館長 大野 旭 精明公民館長 山本和夫 ・ 双柳公民館長 綿貫光行 加治公民館長 小林正宜 ・ 加治東公民館長 村上達哉 美杉台公民館長 小林利光 ・ 南高麗公民館長 森田高広 吾野公民館長 村寫豊和 ・ 東吾野公民館長 小川 稔 原市場公民館長 平沼 豊 ・ 名栗公民館長 熊澤志津代
傍聴者の数	なし
会議次第	別紙のとおり
配布資料	別紙のとおり
事務局職員職氏名	主査 石澤育代

## 会議録（2）

### 議事の概要（経過）・決定事項

#### 1 審議事項

- （1）令和4年度事業報告について（公開）  
別紙のとおり
- （2）意見交換（公開）

### 会議録（3）

発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>皆様こんにちは。ただいまから、令和4年度第2回飯能市公民館運営審議会を開会いたします。</p> <p>お手元にお配りしました次第に基づき進行させていただきます。</p> <p>本日、進行役を務めさせていただきます富士見公民館の石澤でございます。よろしくお願いいたします。なお、本日の会議時間は、概ね1時間程度を予定しております。</p> <p>それでは、次第の2に移ります。</p> <p>まず初めに、飯能市公民館運営審議会田島委員長からご挨拶を頂戴いたします。</p> <p>どうぞよろしくお願いいたします。</p>
委員長	<p>（田島委員長 挨拶）</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、飯能市教育委員会中村教育長からご挨拶申し上げます。</p>
教育長	<p>（中村教育長 挨拶）</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>中村教育長は、他の公務のためここで退席させていただきます。</p> <p>それでは、次第の3議事に入りますが、その前に、本日の出席者につきましてご報告を申し上げます。本日、定数12名に対し、出席者は11名です。飯能市公民館設置及び管理条例第10条第2項により、会議の開催には、半数以上の委員の出席が必要となりますが、その要件を満たしております。</p> <p>また、この会議は、全て公開となっておりますが、現時点で傍聴の申し出はないことをご報告いたします。</p> <p>それでは議事に移ります。議事につきましては、条例第10条1項の規定により、議長は委員長が務めることとされておりますので、これより田島委員長に議事の進行をお願いいたします。</p>
委員長	<p>それでは、しばらくの間議長を務めさせていただきます。皆様のご協力をお願いいたします。</p> <p>議事の（1）令和4年度事業報告について、事務局から説明をお願いします。</p>
公民館管理 担当課長兼 富士見公民 館長	<p>富士見公民館長の岡野です。私からは、全般的事項と全館共通で実施した事業について、説明させていただきます。</p> <p>各公民館では、地域の学習拠点として、学校、・家庭・地域が連携した教育の推進、地域に根ざした公民館、地域課題を捉えた事業の充実、各ライフステージに応じた学習活動の支援、子どもの学習活動の支援を重点施策として掲げ事業を行って参りました。</p> <p>12の公民館で、1月31日現在、190の事業を行いました。</p>

主な事業の内容につきましては、後ほど各館長から説明申しあげます。

富士見公民館含む全館で開催した事業として、「夏休み公民館学習スペース開放2022」を開催しました。公民館の会議室などを小中学生の夏休みの宿題、自主学習、読書などの学習スペースとして開放しました。延べ134日間、44名の利用がありました。

同じく全館で開催した事業として、埼玉県名勝指定第1号「天覧山」の名勝指定100周年記念事業「みんなの天覧山」を開催しました。埼玉県の名勝指定第1号から100年を記念し、天覧山をテーマに各公民館で、俳句、短歌、川柳、写真、絵画などを募集し、応募いただいた作品の展示会を行いました。応募いただいた作品は全館で、41作品、観覧いただいた方は延べ700人でした。なお、名栗公民館では、2月21日、本日から3月12日まで、開催していますので、どうぞご覧ください。

富士見公民館からは以上です。

続きまして、各館から事業報告を申し上げます。飯能中公民館から順に各館長より説明します。

飯能中央公民館長

飯能中央公民館長宮沢です。よろしくお願ひします。資料の1ページをご覧ください

今年度開催した主な事業について簡単にご説明させていただきます。

3番の防災講座は、明治安田生命保険相互会社との健康づくり等に関する連携協定に基づき同社との共催により実施し、講師も同社社員によるものでした。参加については、地区の自治会長にもお声がけし、当日参加は29名になりました。

内容は、避難所生活の課題と適切な避難先の選び方、在宅避難の特徴と在宅避難が可能となる条件、在宅避難のために備えておきたい防災グッズの紹介、災害時に役立つ身の回りのものの活用法などでした。

8番9番は同様な事業ですが、8番の「勉学のススメ」は指導員がつかない自習のための会議室開放です。

12番の「初心者俳句講座」は、飯能市俳句連盟さんとの共催で実施しました。テレビの影響もあってか定員を上回る申し込みをいただきました。

16番「飯能を知らウオーク」は博物館との共催事業で、天覧山周辺の地質を知ろうと題して天覧山及び周辺を歩きながら博物館学芸員が地質についてを解説しました。

イメージとしてはNHKのブラタモリと同様な雰囲気、参加者が熱心に学芸員の解説を聞いていました

飯能中央公民館の説明は以上です。

第二区公民館長

第二区公民館長の大野です。よろしくお願ひします。

資料の2ページをご覧ください。

1番の卓球台開放は年間を通して、毎週木曜日と第2・第4火曜日の午後はホールが開いている関係で、自由に卓球が出来るようにしています。平均ですと、月に5回、参加者は毎回7名、時間は3時間で、このように回数、時間、参加者数が多くなっています。

2番のモルック体験会です。こちらは、地区のスポーツ協会と共催で行いました。コロナ禍で夏の行事が出来ませんでしたので、家にこもりがちな方にも出てきてもらいたい、地域を盛り上げようとのことから、自治会

毎に、自治会館等へ出張してモルックの体験会を行いました。スポーツ推進員を中心に段取りをしていただき、全部で6回開催しました。

7番、認知症予防講座です。自治連第二支部との共催で開催しました。コロナ禍で一年延期となりましたが、飯能靖和病院の作業療法士を講師に、誰もがなりうる「認知症」について、認知症の予防や、認知症の方に対する接し方など、現場で対応する方の声を聴くことで、認知症に対する理解を深めようと開催しました。

10番、防災講座です。小瀬戸自治会（自主防災会）との共催で実施しました。今年度は、明治安田生命の定期講座を活用し、社員の方5～6名来られ、在宅避難を推奨する話がメインでしたが、防災グッズの紹介や新聞紙でスリッパづくりをしてみました。そのときに、参加された方の血管年齢なども計っていただきました。

15番、行ってみようあの場所へ。これはウォーキングが目的ですが、公共交通を使って市外へ行き、その土地の見聞を広めながら歩く事業です。3年ぶりの開催となりましたが、今回は東飯能から嵐山町まで電車で行き、そこから歩いて国の指定史跡である杉山城跡へ行ってきました。

16番、郷土史講座「天覧山」は、博物館で10月16日から12月11日まで特別展「天覧山」を開催しましたので、その関連講座として、博物館の職員が講師となり、2回にわたり、天覧山の名勝の由来や歴史について話をさせていただきました。

19番 第二地区モルック大会をスポーツ協会と共催で行いました。昨年はウォークラリーを行いました。今年度は、モルックを普及させたいとのことで、第1回目の大会として開催しました。夏に体験会も行いましたし、誰でも参加できる競技であることから、毎年の事業として計画する予定です。説明は以上です。

精明公民館  
長

精明公民館長の山本です。

資料の3ページをご覧ください。

令和4年度も引き続きコロナ禍の影響で、止むを得ずいくつかの事業を中止といたしました。

今年度の事業の特色としては、4番、明治安田生命保険相互会社と双柳公民館との共催で「睡眠」と「健康」の知恵袋講座を開催いたしました。皆さんの関心の高い「睡眠」と「健康」について、明治安田生命保険相互会社から講師の派遣を受け、実施いたしました。受講された皆さんからは高く評価していただいております。

また、10番、街道歩きおもしろ講座は、江戸時代の旧五街道を実際に歩いているご自分で「街道歩き愛好家」だという方を講師に迎え、沿道の景色や風物の写真を見ながら、その時のエピソードをご紹介いただき、街道歩きの面白さをお話いただきました。参加された方からは、全行程を歩くことはできないが、街道歩きにチャレンジしてみたいというお声をいただきました。

精明公民館は、精明小学校に隣接していることもあり、児童の皆さんの学習の場や居場所づくりを目指した事業を計画いたしました。

来年度も地域の皆さんのニーズに応えられる事業を計画していきたいと考えております。説明は以上です。

<p>双柳公民館長</p>	<p>双柳公民館長の綿貫です。よろしくお願ひします。 資料の4ページをご覧ください。 令和4年度双柳公民館の事業報告でございます。 1番の菜の花ウオークは4月9日に実施し95人の参加がありました。 3番のグループ体験事業「じきょうじゅつ」は6月に4回実施しました。 4番の睡眠と健康の知恵袋講座は民間事業者と共催しました。 6番、8番、9番、10番、11番は、子どもの居場所づくりや学習支援、体験教室として夏休み中に実施したものです。 13番のイツモ防災講座は、主に自治会役員を対象に9月4日に実施し、39人の参加がありました。双柳地区の防災の課題等について防災士から講義をいただきました。 14番の郷土史講座は利用団体と共催し高麗郡について学びました。 15番のアライグマ捕獲従事者養成研修会は、鳥獣被害対策室と共催で開催し、資格取得を目的としたものです。 18番から20番は双柳地区文化祭です。17番のみんなの天覧山は文化祭（展示・囲碁の集い）と同時に開催しました。 22番はフィンランドの伝統装飾品ヒンメリを作りました。 23番は小学3年から6年生を対象とした書初め教室です。 24番の小・中学校家庭教育学級は飯能東青少年健全育成の会と共催し、地区役員をはじめ学校関係者等に参加をいただき、埼玉県ネットアドバイザーから子供たちがインターネットを適正に利用できるよう「子供安全見守り講座」を実施しました。 25番は人権についての資料展示会です。 以上、双柳公民館の事業報告でございます。</p>
<p>加治公民館長</p>	<p>加治公民館長の小林正宜です。 資料の5ページをご覧ください。 当館では、今年度33回の事業を実施し、728名の方々にご参加いただきました。 その中で主なものをご説明いたします。 はじめに、4番の新規事業、シニア向けスマートフォン教室でございます。 地域のデジタルデバインド対策に資するため、スマートフォンをまだお持ちではない、シニア層を対象とした事業でございます。 総務省認定講師の、わかりやすく、ていねいな講義により、初めてスマートフォンを手にとった、参加者の皆さんも、次第に操作が慣れてきた様子でございました。 質疑応答では、機種の種類や通信費用、有料サービスなどの料金に関すること、また、個人情報流出や悪用の恐れ、等々、参加者の皆様からは、そのようなリスクに関する質問が多く出されたことを鑑みると、そういった不安要素があり、スマートフォン購入の動機を妨げているのかな、ということがわかってまいりました。 ある程度の期間をおきました後日、参加者の皆様に連絡をとってみたいところでは、参加者6名中、5名の方々が、スマートフォンを購入されたということでございました。 皆さん、なかなかうまく使いこなせていない、というようなお話でござ</p>

<p>加治東公民館長</p>	<p>いましたが、この事業への参加が、購入の動機付けになったり、躊躇しているところの後押しになったのだとしたら、この事業には一定の成果があったと、いうふうに考えております。</p> <p>8番の新規事業、飯能市国際交流協会との共催による「夏休み英会話教室」でございますが、参加募集まで行ったところで、講師の体調不良により、残念ながら、急遽中止となったものです。</p> <p>25番の新規事業「見聞まち歩き」は、加治東、美杉台との3館共催事業として、豊島区の日黒駅から巣鴨駅までの約5キロメートルを、東京シティガイドクラブの説明をいただきながら、ウォーキングで巡るもので、2月28日に実施いたします。</p> <p>27番、飯能市囲碁連盟様との共催による「初心者囲碁教室」は、友人づくり、生きがいを目的として、4年ぶりに開催するものであり、現在、参加者募集中でございます。</p> <p>加治公民館からの説明は以上でございます。</p> <p>加治東公民館館長の村上です。</p> <p>今年度の事業について概要を報告させていただきます。</p> <p>資料の6ページをご覧ください。</p> <p>加治東地区は、地区住民の方々によるまちづくり・地域福祉などの諸団体の活動が盛んです。加治東地区は人的な地域資源が豊富な地区と言えます。そこで加治東公民館では、そのような諸団体の方々との共催事業に力を入れております。</p> <p>従来から公民館事業を共催しておりますのは、加治・美杉台地区まちづくり推進委員会、加治東ふれあい広場などですが、今年度は新たにNPO法人子育て応援ゆう、そしてNPO法人子育て応援ゆうが事業を受託して行っている地域子育て支援拠点にこにこひろばとの協働を企画し、実施しました。</p> <p>事業の説明をいたします。資料中2番・5番・22番が加治・美杉台地区まちづくり推進委員会の皆さんとの共催事業です。2番の加治ふるさとハイキングは地区内の寺社仏閣・文化財を、5番の水辺の生き物観察会・22番のバードウォッチングは地区内の自然を観察するもので、加治・美杉台地区まちづくり推進委員会の皆さんと地域資源を確認し、まちづくりに活かしていこうというものです。</p> <p>9番・18番・21番・31番は加治東ふれあい広場の皆さんとの共催事業です。加治東ふれあい広場は、近年非常に活動が活発で、高齢者の方々や子ども達の居場所づくりなど、地域課題の解決に意欲的に取り組んでおられます。公民館もそうした活動にできる範囲で協力したいということで、共催事業を今年度一つ増やしております。</p> <p>8番・26番・30番はNPO法人子育て応援ゆうと地域子育て支援拠点にこにこひろばとの共催事業です。NPO法人子育て応援ゆう・地域子育て支援拠点にこにこひろばとの事業の共催は、公民館利用者の中で層の薄い小さな子ども達や、子育て中の若い保護者の方々による公民館の利用を促進しようという意図のもと行っております。</p> <p>今年度、事業の協働を充実させる対象として考えたのは、地区内諸団体だけでなく、加治・美杉台公民館や市立博物館など社会教育施設も含まれます。</p>
----------------	---

<p>美杉台公民館長</p>	<p>加治・美杉台公民館は、加治東公民館同様加治地区内の公民館です。同じ加治地区内所在の公民館が地域課題等の情報共有を行うため、連携の機会を増やすことが大切かと考えております。</p> <p>博物館は公民館とは別種の社会教育施設ですが、社会教育の充実のために事業の共催を行いました。</p> <p>簡単ではございますが、説明は以上となります。</p> <p>美杉台公民館館長、小林利光でございます。</p> <p>7 ページの令和4年度美杉台公民館事業報告をお話しさせていただきます。</p> <p>新型コロナウイルスの影響で実施できなかった事業もいくつかございますが、新規の事業を中心にご説明させていただきます。</p> <p>昨年度に引き続き、文化祭の作品展示部門につきましては、美杉台地区行政センター廊下にあります展示スペースを活用しまして、週替わり作品展示会として実施しました。1 団体を1 週間、展示していただき、8 団体と個人作品の週を1 週間設けて、9 週間実施しました。その参加団体のうち4 団体につきましては、各展示期間中に、参加団体の紹介も兼ねまして体験会を実施しました。10 番の絵画につきましては講師の方の解説、12 番の水墨画につきましては墨による年賀状作成、16 番のパステル画につきましてはパステルを使った絵画体験、20 番の仏像彫刻については仏像の見方や彫り方の解説を行い、どの体験会も定員に達し、とても人気がありました。</p> <p>なお、週替わり作品展示会につきましては、ご覧になった方々の人数把握はしておりませんので人数は明記しておりませんが、職員が作成しましたしおり付きのプログラムをお持ちいただいた人数は、312 名でした。</p> <p>25 番の加治地区青少年健全育成の会、加治・加治東公民館との共催で行いました講演会ですが、今回は飯能市と明治安田生命が包括連携協定を結んでいることから、明治安田生命に相談し、メニューが豊富な明治安田こころの健康財団をご紹介いただき、「子どもと一緒に成長する子育て」をテーマに、日本女子大学の塩崎教授にご講演をいただきました。教授ご自身の子育て体験も交えながら、貴重なお話をいただきました。</p> <p>美杉台公民館からは以上となります。</p>
<p>南高麗公民館長</p>	<p>南高麗公民館の森田でございます。よろしく願いいたします。</p> <p>資料の8 ページをご覧ください。</p> <p>当館では、今年度全体で24 事業を計画し、その内1 月末までに17 の事業を開催し、1 つの事業のみ中止としております。当館からは、今年度これまでに開催いたしました事業の中から、3 つの事業についてご説明いたします。</p> <p>まず、6 番の「みんなの自習室」でございますが、この事業も回を重ねる内に夏休み期間中の恒例事業として地域に定着し、今年は小学校1 年生から6 年生まで、募集人数を上回る数多くの児童の参加がございました。</p> <p>3 年前まで南高麗小学校で教壇に立っていられた森和彦氏に講師をお願いいたしましたが、熱心ながらも児童の自主性を尊重する丁寧な御指導をいただき、学年を問わず集中しておのこの課題に取り組んでいただきました。</p>

次に、12番の「防災講座」でございますが、この講座は、岩渕自治会と共催で開催し、当日の参加者も自治会の役員や自主防災関係者が中心でございましたが、講師としてお願いした埼玉県自主防災組織リーダー養成指導員の大城戸修一氏が事前にご自分で対象地内を詳しく調査され、その結果を基に各種の資料・教材を豊富に用意していただきました。そのため、一般的な防災知識の習得はもとより、地域の実情に即した、とても身近で実践的な学びの機会となり、参加者に大変好評でございました。地区内の全域に土砂災害特別警戒区域を抱える山間地域として、今後も更なる内容の充実を図りながら継続して開催していきたいと考えております。

次に、14番の「南高麗石標めぐりウォーキング」でございますが、この事業の共催団体である南高麗地区まちづくり推進委員会では、交流人口の増加を目指す地域づくり活動の一環として、平成22年からこれまで地区内の各所に12基の石標を建立してきました。今回はその内の2か所をまわる約5kmのコースを設定し、参加者にまちづくり推進委員会の継続した活動への認識を深めていただくと共に、心身の健康の維持・増進も目的としたウォーキング事業を開催いたしました。この事業には、農のある暮らし「飯能住まい」制度により、本市に移住された方々にも参加していただいております。

なお、最後になりますが、これまでに開催いたしました全ての事業につきまして、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に必要な措置を講じた上で開催しております。説明は以上でございます。

吾野公民館  
長

吾野公民館長の村畷でございます。

資料の9ページをご覧ください。

吾野公民館の事業につきましてはここ2年ほどはコロナ禍のため思うように事業が行えない状況でしたが、今年度からコロナ禍前と同様とは参りませんが、コロナ対策を行いながら少しずつ事業を開催しています。

大きなところでは、今年度は3年ぶりに地区の文化祭を開催することができました。

舞台での芸能発表部門では、大きな声を出さない舞踊系、大正琴の成果発表を、また展示部門では書道、パッチワーク、一般参加作品の展示を行うことができました。

そのほかの主な事業といたしましては、家庭教育学級として教育講演会の開催、また東吾野公民館と連携して夏休み中の親子を募集し、お寺での座禅体験と住職による寺の由緒などの講話、地域の方の上演する紙芝居を見るという体験教室を開催いたしました。

また地域柄、有害鳥獣の被害も多いということで、鳥獣対策研修会を自治連吾野支部と連携して開催いたしました。

また本年度の新たな試みとして、奥武蔵小・中学校と連携して舞台演劇星の王子様を鑑賞するという芸術鑑賞会を開催することができました。

一方で、12月27日に予定しておりました冬休み書初め教室は参加予定の子どもさんの多くが新型コロナ感染のため中止のやむなきに至りました。

今後の予定といたしましては、旧吾野小学校を会場とした避難所開設講習会、また青少年健全育成の会と連携した親子社会科見学会などの開催を予定しております。

<p>東吾野公民館長</p>	<p>未だ、新型コロナウイルスの影響が完全に払拭されたとは言えない状況ですが、今後も状況を適切に判断し、可能な限り地域に寄り添った事業を展開してまいりたいと考えております。</p> <p>説明は以上です。</p> <p>東吾野公民館長の小川でございます。 資料の10ページをご覧ください。 今年度は予定も含め、16回の事業を行っています。時間は68日間、27時間、参加者数は503名です。 主なものについて報告します。 9番地域を歩こうは69名の参加をいただきました。地元・愛宕山ほか霊峰2山飯能七福神の白子の長念寺・日高市横手の瀧泉寺を歩く3.5時間約10kmのコースでございます。 11番地域交流GG大会は31名の参加をいただき、参加者が得点を競いました。 12番東吾野地区文化祭は展示・発表部門土日併せて136人、3年ぶりに規模を縮小して開催いたしました。残念ながら、模擬店部門は中止になりました。 14番防災講座は正副自治会長26名に参加していただき、県から講師を招き、「身近にひそむリスク」と題して、災害時の行動・身の守り方、避難所運営などについて学びました。 24番スマホ教室は、既に20名の申し込みがあります。定員になってからも申し込みが多数あり、久々に手ごたえを感じました。申し込んだ方の顔触れをみると、当日の指導は手ごわそうですが楽しく実施できればと考えております。 25番地域を歩こうは、3月5日に実施を予定しておりまして、行政センターから、横手、多峯主、天覧山、OHまで、4時間、10kmのコースになります。 26番モルック体験会は、夏に中止になり、再チャレンジです。 以上が東吾野公民館の事業報告になります。</p>
<p>原市場公民館長</p>	<p>原市場公民館長の平沼です。よろしく申し上げます。 資料の11ページをご覧ください。 原市場公民館事業報告について、ご説明させていただきます。 原市場公民館では、令和4年度に計画した29の事業のうち、20の事業を実施しました。 新型コロナウイルスの影響もあり、思うように事業が実施出来ない状況ではありましたが、屋外であったり、体育館などの比較的広い場所で、感染の影響が比較的少ない環境であれば実施出来るのではないかと狙いを定め、スポーツ関係のイベントとして1番、3番、5番、12番、14番、20番、21番の7つのイベントを実際に行うことが出来ました。他の屋内の講座につきましても、実施出来たものはございますが、新型コロナウイルスの影響もあり事業実施の難しいものもございました。 来年度につきましては、新型コロナウイルスの扱いも変わってくることもありますので、皆様に集まっていだけけるような魅力ある事業を計画しながら、実際に実施もできるようにしていきたいと考えております。</p>

<p>名栗公民館 長</p>	<p>以上が原市場公民館の事業報告になります。</p> <p>名栗公民館長の熊澤です。よろしくお願ひします。 資料の12ページをご覧ください。</p> <p>令和4年度の名栗公民館の事業報告につきまして、主なものを説明させていただきます。</p> <p>2番の電気柵設置実演講習会は、市の鳥獣被害対策室と共催で行いました。</p> <p>地域課題である獣害対策として、地域の畑をお借りした電気柵設置の講習会を開催しました。市の鳥獣被害対策室から派遣された講師にアドバイス等を受けながら、実際に柵設置の体験をしていただきました。講演だけでは分からない設置のポイントなども実体験していただき、参加者自身の畑での設置に役立てられたようです。</p> <p>5番の今から取り組もう防災講座は、明治安田生命保険相互会社と共催で行いました。</p> <p>災害が発生した時の非難について選択肢の一つである在宅避難を取り上げ、その条件チェックや必要な防災用品などについて講話をいただきました。また、新聞紙など身近なものを使ってすぐできる防災グッズを参加者に作ってもらう体験なども行いました。日頃の生活の中でも防災の意識を持っていたような内容の講座でした。</p> <p>8番の映画を見て、花火も楽しもう！は、名栗地区青少年健全育成の会と共催で行いました。</p> <p>青少年健全育成の会と共催で行う3年ぶりの事業でした。映画会は行政センター集会室にて開催しました。児童向けアニメ映画1本の上映と、地域で活動する紙芝居の会の方による大型紙芝居の朗読もありました。その後、センター前スポーツ広場では保護者の方も一緒に手持ち花火を楽しみました。地区の中学生がボランティアで手伝ってくれて久しぶりの事業となり、大人も子どもも楽しんでもらうことができました。</p> <p>14番の英語であびましようは、飯能市国際交流協会と共催で行いました。</p> <p>未就学児とその保護者を対象に実施したこの講座は、クリスマスの季節にちなんだいろいろな英語の言葉を、クリスマス飾りや小道具を使いゲームをしながら覚えていきました。また、クリスマスの絵が描かれたカードを使ったカルタ取りは、大人も子どもも一緒に盛り上がりました。</p> <p>16番の幼・小・中家庭教育学級は、幼稚園・小学校PTAと共催で行いました。</p> <p>名栗地区では幼稚園、小学校、中学校合同で家庭教育学級を開催しています。今年度は、「子どものタブレット端末利用を保護者はどう考える！」と題して、小学校の先生から授業でのタブレット端末の利用や、家庭でどのように活用していくかといった話から保護者の意見交換を行いました。また、昨日2月20日（月）には、人権講座として子どもを上手に褒めて育てるノウハウを習得する「ペアレントトレーニング」について、飯能市教育センターから講師をお迎えして講話をお聞きしました。</p> <p>本日2月21日から飯能ひな飾り展に併せ、センター館内では「みんなの天覧山」展示を実施しています。また、センター施設周辺で丸太ひな飾りも行われています。</p>
--------------------	---

	<p>来年度も、関係機関や地域の団体等と共催で公民館事業を開催していきたいと思います。</p> <p>名栗公民館からの報告は以上になります。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、先ほど各公民館長からご説明頂きました議事（１）の令和４年度事業報告についてのご質問及び（２）の意見交換をあわせて進めさせていただきます。</p> <p>質疑は何かございますか。</p>
<p>杉山委員</p>	<p>まずは、各公民館で数多くの事業を実施していただいていることに深く感謝申し上げます。</p> <p>私が公民館運営審議会委員になりましてから一貫して申し上げておりますのが、公民館サークルの活性化の問題であります。</p> <p>現在、公民館サークルの中心は、我々のような団塊世代になると思います。人生９０年ぐらいと言われていきますので、あと１０年から１５年ぐらいは大丈夫だと思いますが、その後新しい世代の方が携わってくれるかが問題になると思います。</p> <p>現在も少子高齢化に伴って、公民館サークルの会員の減少が顕著になっております。</p> <p>公民館活動は、自分たちの趣味を楽しむと同時に、地域のコミュニケーションづくり、地域づくりに大きな役割を果たしていると思います。</p> <p>そうした状況で、１点お願いしたいのが、講座終了後に新しいサークルを結成することを考慮した取り組みを進めていただきたいという事になります。講座に参加した方による自主運営という形が一番望ましいと考えております。</p>
<p>公民館管理 担当課長兼 富士見公民 館長</p>	<p>貴重な意見をありがとうございます。</p> <p>杉山委員のおっしゃる通り、公民館サークルは、人と人とを結びつける。公民館は、そうした役割を果たしていると考えております。</p> <p>事業の中でも、グループの皆さんと一緒に、グループ活性化事業に取り組んでいる館もございます。そうした中から、興味を持っていただき、公民館活動を広めていければと思います。杉山委員からご提案いただきましたように、初心者向けの囲碁講座を開催するなど多くの方にPRして、公民館サークルへの加入が増えるように公民館としても考えていきたいと思っています。</p>
<p>委員長</p>	<p>他に質疑はございますか。</p>
<p>内沼委員</p>	<p>コロナ禍の中で、公民館は地区の灯りだと感じました。</p> <p>夜に散歩に行った時でも、公民館に光があるということで、心が明るくなりました。地区の皆さんも、何かあった時でも公民館に行けば何とかなるのではないかという安心感があります。</p> <p>実際、館長をはじめとして皆さんに応援していただいております。ぜひ、公民館サークルの方々の応援もよろしく願いいたします。</p>

<p>委員長</p>	<p>他に質疑はございますか。</p> <p>（「なし」の声あり）</p> <p>質疑なしと認めます。        以上で議事令和4年度事業報告についてご承認いただくことでご異議        ございませんか。</p> <p>（「異議なし」の声あり）</p> <p>異議なしと認めます。        それでは、令和4年度事業報告について承認といたします。</p> <p>これにて、議事を終了いたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>田島委員長ありがとうございました。また、委員の皆様には、慎重なご        審議と貴重なご意見をいただきありがとうございました。</p> <p>それでは、次第の4その他に移ります。</p> <p>皆様から何かございますでしょうか。</p> <p>（「なし」の声あり）</p> <p>それでは、以上をもちまして全ての予定が終了いたしました。</p> <p>ここで、新井教育部長から皆様にお礼のご挨拶を申し上げます。</p>
<p>教育部長</p>	<p>（新井教育部長 挨拶）</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは、以上をもちまして、令和4年度第2回飯能市公民館運営審議        会を閉会とさせていただきます。        ご協力をいただきありがとうございました。</p>
<p>議事のでん末・概要を記載し、その相違ないことを証するためここに署名します。</p> <p>令和 5年 月 日</p> <p>議 長 の 署 名 _____</p>	